

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-88746

(P2014-88746A)

(43) 公開日 平成26年5月15日(2014.5.15)

(51) Int.Cl.

E04B 2/82 (2006.01)

F I

E O 4 B 2/82 5 1 1 S

E O 4 B 2/82 5 O 1 C

E O 4 B 2/82 5 1 1 D

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2012-240621 (P2012-240621)

(22) 出願日 平成24年10月31日 (2012.10.31)

(71) 出願人 000000561

株式会社岡村製作所

神奈川県横浜市西区北幸2丁目7番18号

(74) 代理人 100098729

弁理士 重信 和男

(74) 代理人 100116757

弁理士 清水 英雄

(74) 代理人 100123216

弁理士 高木 祐一

(74) 代理人 100163212

弁理士 溝渕 良一

(74) 代理人 100173048

弁理士 小椋 正幸

(74) 代理人 100148161

弁理士 秋庭 英樹

最終頁に続く

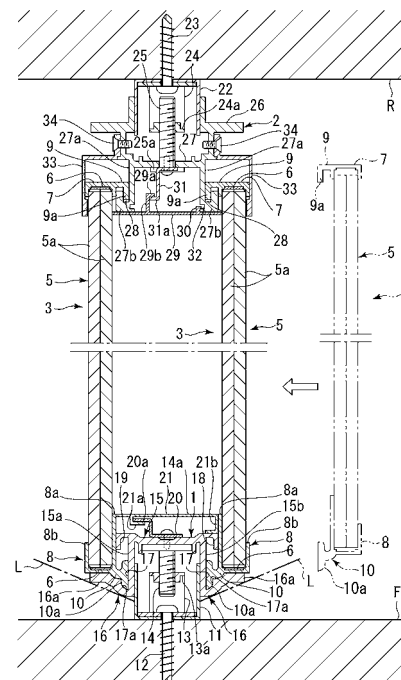
(54) 【発明の名称】 間仕切パネル装置

(57) 【要約】

【課題】足元の幅木やパネル支持部等を目立ちにくくして見栄えを向上させる。

【解決手段】天井Rに設けた上部パネル支持体2と、床面Fに設けた下部パネル支持体1との間に、パネル3を建付けしてなる間仕切パネル装置であって、下部パネル支持体1を、床面Fに設けた幅木11の少なくとも前面上部を覆うように配設し、下部パネル支持体1における幅木11よりも前方に突出する部分の下部を、前上方から後下方に傾斜する直線上に沿って傾斜させた。

【選択図】図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

天井に設けた上部パネル支持体と、床面に設けた下部パネル支持体との間に、パネルを建付けしてなる間仕切パネル装置であって、

前記下部パネル支持体を、床面に設けた幅木の少なくとも前面上部を覆うように配設し、前記下部パネル支持体における前記幅木よりも前方に突出する部分の下部を、前上方から後下方に傾斜する直線上に沿って傾斜させたことを特徴とする間仕切パネル装置。

【請求項 2】

前記パネルを、パネル本体の上下の端部に幅方向を向く縁材を嵌着したものとし、前記上部の縁材の後面に、前記上部パネル支持体の前部に設けた上部係合溝に上方より係合する上部係合片を設けるとともに、前記下部の縁材の後面下部に、後下方に向かって延出する下部係合片を設け、前記下部のパネル支持体における前記幅木よりも前方に突出する部分に、前記下部の縁材の下面を支持する支持部を有するとともに、前記下部係合片が係合する前上方から後下方に向かって傾斜する下部係合溝を有するパネル支持部を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の間仕切パネル装置。

10

【請求項 3】

前記下部係合片の下面と、該下面に当接する下部係合溝の上面とを、後下方に沿って複数の段差面としたことを特徴とする請求項 2 に記載の間仕切パネル装置。

【請求項 4】

前記上部パネル支持体に、前記パネルの上端部の前面と当接若しくは近接する押え部材を設けたことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の間仕切パネル装置。

20

【請求項 5】

前記パネルをガラスパネルとしたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の間仕切パネル装置。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、天井と床面とに設けたパネル支持体間に、ガラス等よりなるパネルを建付けしてなる間仕切パネル装置に関する。

【背景技術】

30

【0002】

この種の間仕切パネル装置としては、ガラス本体の上部と下部に、それぞれ上部フレームと下部フレームを取り付けたガラスパネルを、天井と床面のパネル支持体に、上部フレームと下部フレームをそれぞれボルトとナットにより固定して取り付けたもの（例えば特許文献 1 参照）、ガラスパネルの上下の端部に取り付けた縁枠材を、天井と床面のパネル支持体の係合溝に、押え部材をもって係合溝より外れるのを防止しうるように、上下方向に移動可能に嵌合したもの（例えば特許文献 2 参照）、透明パネルの下部に縁枠部材を取り付け、この縁枠部材を、天井と床面のパネル支持体（横フレーム）に、けんどん（俵飴）式で取り付けたもの（例えば特許文献 3 参照）などがある。

【先行技術文献】

40

【特許文献】**【0003】**

【特許文献 1】特許第 4 7 5 0 4 2 8 号公報（第 5 頁、第 3 図）

【特許文献 2】特許第 4 6 3 6 9 6 1 号公報（第 3 頁、第 2 図）

【特許文献 3】特許第 4 7 1 3 2 5 3 号公報（第 5 頁、第 4、6 図）

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

上記特許文献 1 に記載の間仕切パネル装置においては、床面と天井とのパネル支持体との間に、ガラスパネルを、そのガラス本体の前面を大きく露出させて建付けしうる利点が

50

ある。しかしながら、ガラス本体に取り付けた上部フレームと下部フレームを、上部フレームと下部フレームに、ボルトとナットにより固定しているので、多数のガラスパネルを建付けする際の作業効率が悪い。

【 0 0 0 5 】

上記特許文献 2 に記載の間仕切パネル装置は、パネルを、上下のパネル支持体に上下方向に移動可能に、また、特許文献 3 に記載の間仕切パネル装置は、パネルを、上下のパネル支持体に、けんどん式により、それぞれ取り付けているので、地震等によりパネルが上下方向にがたつくことがある。特に、けんどん式でパネルを建付けすると、大きな地震等でパネルが上方に移動すると、下部のパネル支持体よりパネルが外れる虞がある。

【 0 0 0 6 】

また、特許文献 2 及び 3 に記載の間仕切パネル装置は、いずれも、パネルの下端部を支持するパネル支持体は、床面に設けた幅木やカバー部材の上端よりも上方に位置しているので、足元の幅木やカバー部材、及びパネル支持体のパネル支持部が目立ち過ぎ、見栄えが悪いだけでなく、床面と天井間におけるパネル本体の前面の露出面積が小さくなるという問題がある。

【 0 0 0 7 】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、足元の幅木やパネル支持部等を目立ちにくくして見栄えを向上させるとともに、パネルを容易に、かつ安定よく建付けすることができ、さらに、パネル前面の露出面積を大とすることができるようにした間仕切パネル装置を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 8 】

前記課題を解決するために、本発明の間仕切パネル装置は、天井に設けた上部パネル支持体と、床面に設けた下部パネル支持体との間に、パネルを建付けしてなる間仕切パネル装置であって、

前記下部パネル支持体を、床面に設けた幅木の少なくとも前面上部を覆うように配設し、前記下部パネル支持体における前記幅木よりも前方に突出する部分の下部を、前上方から後下方に傾斜する直線上に沿って傾斜させたことを特徴としている。

この特徴によれば、人がパネルの前方に立って視線を下方に向けた際に、足元のパネル支持体における幅木より前方に突出する部分や幅木が目立ちにくくなるので、見栄えが向上する。

【 0 0 0 9 】

本発明の間仕切パネル装置は、

前記パネルを、パネル本体の上下の端部に幅方向を向く縁材を嵌着したものとし、前記上部の縁材の後面に、前記上部パネル支持体の前部に設けた上部係合溝に上方より係合する上部係合片を設けるとともに、前記下部の縁材の後面下部に、後下方に向かって延出する下部係合片を設け、前記下部のパネル支持体における前記幅木よりも前方に突出する部分に、前記下部の縁材の下面を支持する支持部を有するとともに、前記下部係合片が係合する前上方から後下方に向かって傾斜する下部係合溝を有するパネル支持部を設けたことを特徴としている。

この特徴によれば、上部の縁材における上部係合片を、上部パネル支持体の上部係合溝に、下部の縁材の下部係合片を下部パネル支持体の下部係合溝に、それぞれ、落とし込んで係合させるだけで、パネルを容易に建付けすることができる。また、下部の縁材の下部係合片を、後下方に傾斜させ、この下部係合片を、下部パネル支持体のパネル支持部に設けた後下方に傾斜する下部係合溝に嵌合しているので、大きな地震等でパネルが上下方向に振動しても、下部係合片が下部係合溝より離脱して脱落する虞は小さく、上下のパネル支持体間にパネルを安定よく建付けすることができる。さらに、下部パネル支持体における前上方に傾斜するパネル支持部の上面により、パネルの下端部を支持しているので、パネルの下部前面の露出面積を大とすることができ、体裁がよくなる。

【 0 0 1 0 】

本発明の間仕切パネル装置は、

前記下部係合片の下面と、該下面に当接する下部係合溝の上面とを、後下方に沿って複数の段差面としたことを特徴としている。

この特徴によれば、複数の段差面により、下部係合片が下部係合溝より離脱するのが規制されるので、パネルの下端部が下部パネル支持体より離脱するのが効果的に防止される。

【 0 0 1 1 】

本発明の間仕切パネル装置は、

前記上部パネル支持体に、前記パネルの上端部の前面と当接若しくは近接する押え部材を設けたことを特徴としている。

この特徴によれば、縁材の上部係合片が上部のパネル支持体の上部係合溝より離脱しても、パネルの上端部の前面が押え部材により押さえられるので、パネルの上部が前方に転倒するのが防止される。

【 0 0 1 2 】

本発明の間仕切パネル装置は、

前記パネルをガラスパネルとしたことを特徴としている。

この特徴によれば、パネルをガラスパネルとすると、前述したように、足元の幅木は目立ちにくくなっており、またパネルの下部前面の露出面積が大となっているので、ガラスパネルの特徴である見栄えや意匠的效果を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 3 】

【図 1】本発明の実施例 1 に係る間仕切パネル装置の正面図である。

【図 2】図 1 の I I - I I 線に沿う拡大縦断側面図である。

【図 3】本発明の実施例 2 に係る間仕切パネル装置の拡大縦断側面図である。

【図 4】本発明の実施例 3 に係る間仕切パネル装置の拡大縦断側面図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 4 】

本発明に係る間仕切パネル装置を実施するための形態を実施例に基づいて以下に説明する。

【実施例 1】

【 0 0 1 5 】

図 1 及び図 2 に示すように、実施例 1 に係る間仕切パネル装置は、オフィス等の室内の床面 F に設けた左右方向を向く下部パネル支持体 1 と、天井 R に設けた左右方向を向く上部パネル支持体 2 間に、パネルとしての左右複数のガラスパネル 3 を、前後に離間させて建付けした二重ガラスパネル構造とされている。なお、以下においては、図 2 の右方を前、左方を後として説明する。

【 0 0 1 6 】

左右に隣接するガラスパネル 3、3 の対向端部同士は、ポリカーボネート等よりなる上下方向を向く透明な連結部材 4 により、互いに連結されている。

【 0 0 1 7 】

各ガラスパネル 3 は、2 枚の透明な板ガラス 5 a、5 a を重合して強化した合わせガラスとしたパネル本体 5 と、このパネル本体 5 の幅方向の上下の端部に嵌合され、両面接着テープあるいはホットメルト接着材 6 により固定された下向きコ字状の上部縁材 7 及び上向きコ字状の下部縁材 8 とからなっている。下部縁材 8 の上下寸法は、パネル本体 5 の下部の支持領域が大となるように、上部縁材 7 の上下寸法よりも大としてある。さらに、下部縁材 8 の下部パネル支持体 1 側の起立片 8 a の上下寸法を、外側の起立片 8 b よりも大としてある。なお、現場での建付けや施工時間を短縮するために、上部縁材 7 と下部縁材 8 は、工場等においてパネル本体 5 に予め取り付けられ、ガラスパネル 3 は完成品として出荷される。

【 0 0 1 8 】

前側のガラスパネル 3 における上部縁材 7 の後端上部には、後端に下向きの係止部 9 a を有する上部係合片 9 が、全幅に亘って後向きに突設されている。また、後側のガラスパネル 3 における上部縁材 7 の前端上部にも、前端に下向きの係止部 9 a を有する上部係合片 9 が、前向きに突設されている。

【 0 0 1 9 】

前側のガラスパネル 3 における下部縁材 8 の後端下部には、後端部が上方及び下方に折曲された下部係合片 1 0 が、後下方に向かって傾斜するように突設されている。また、後側のガラスパネル 3 における下部縁材 8 の後端下部にも、前側の下部係合片 1 0 と前後対称をなす下部係合片 1 0 が、前下方に向かって突設されている。下部係合片 1 0 の下面には、後下方に沿って上下 2 段の段差面 1 0 a が形成されている。

10

【 0 0 2 0 】

床面 F には、側面視上向きコ字状断面をなす左右方向の幅木 1 1 が、複数のアンカーボルト 1 2 により固定されている。幅木 1 1 内の上面には、左右複数の支持金具 1 3 が、アンカーボルト 1 2 により共締めして固定されており、各支持金具 1 3 の上面板 1 3 a には、高さ調整用のアジャスタボルト 1 4 が螺合されている。前記下部パネル支持体 1 は、複数のアジャスタボルト 1 4 の上端の受け板 1 4 a により、高さ調節可能として支持されている。

【 0 0 2 1 】

前記下部パネル支持体 1 は、幅木 1 1 に、その上半部を覆うようにして上方より外嵌された側面視ほぼ下向きコ字状断面の嵌合部 1 5 と、この嵌合部 1 5 の前後の下向片 1 5 a 、 1 5 a の下端と連続する、前方及び後方を向く前後対称のパネル支持部 1 6 、 1 6 とを備えている。前側のパネル支持部 1 6 及びその下面は、手前側、すなわち前側のガラスパネル 3 の前面側から幅木 1 1 に向かって後下方に傾斜する直線 L 上にほぼ沿うように、前上方に傾斜させてあり、また、後側のパネル支持部 1 6 は、後側のガラスパネル 3 の後面側から幅木 1 1 に向かって前下方に傾斜する直線 L 上にほぼ沿うように、後上方に傾斜させてある。本実施例では、直線 L の傾斜角度を、床面（水平面）に対し 2 5 度程度としてある。

20

【 0 0 2 2 】

前側のパネル支持部 1 6 の前端部と後側のパネル支持部 1 6 の後端部は、それぞれ、ガラスパネル 3 の下部縁材 8 の下面を支持可能な水平支持部 1 6 a となっている。前側のパネル支持部 1 6 における水平支持部 1 6 a を除いた上面と、前側の下向片 1 5 a の前面との間には、前側のガラスパネル 3 の下部縁材 8 の係合片 1 0 が斜め前上方より係脱可能に係合する、係合片 1 0 と同方向に後下方に向かって傾斜するほぼ V 字状断面の下部係合溝 1 7 が形成されている。この下部係合溝 1 7 の上面には、係合片 1 0 の下面の上下 2 段の段差面 1 0 a が当接する、それと同形の 2 段の段差面 1 7 a が形成されている。

30

【 0 0 2 3 】

後側のパネル支持部 1 6 における水平支持部 1 6 a を除いた上面と、後側の下向片 1 5 a の後面との間にも、後側のガラスパネル 3 の下部縁材 8 の係合片 1 0 が上方より係脱可能に係合する下部係合溝 1 7 が、前側の下部係合溝 1 7 と前後対称、かつ傾斜方向を反対向きとして形成されている。

40

【 0 0 2 4 】

下部パネル支持体 1 における嵌合部 1 5 の前上端と後上端とには、それぞれ、前後の下部縁材 8 の係合片 1 0 と同じ突出寸法の前向突片 1 8 と後向突片 1 9 とが突設され、ガラスパネル 3 を建付けした際、前向突片 1 8 の前面は、前側の下部縁材 8 の後面に、後向突片 1 9 の後面は、後側の下部縁材 8 の前面に、それぞれ当接若しくは近接するようになっている。

【 0 0 2 5 】

嵌合部 1 5 の上面には、左右方向を向くカバー取付部材 2 0 がねじ止めされ、このカバー取付部材 2 0 の上端の後向片 2 0 a には、嵌合部 1 5 の上方を体裁よく覆う下部カバー部材 2 1 が取付けられている。すなわち、この下部カバー部材 2 1 は、その下面に突設さ

50

れた L 字状の係止片 2 1 a を前記後向片 2 0 a の下面に弾性係合させるとともに、下部カバー部材 2 1 の前端に突設された後向き L 字状の下向片 2 1 b の下面を嵌合部 1 5 の上面に当接させて装着されている。なお、下部カバー部材 2 1 の前後の端部には、前後のガラスパネル 3 を建付けしたとき、それらの下部縁材 1 0 の前面及び後面が当接または近接するようになっている。

【0026】

天井 R には、左右方向を向く側面視下向きコ字状断面の天レール 2 2 が、左右複数のボルト 2 3 により固定され、天レール 2 2 内の下面には、左右複数の吊支金具 2 4 が、ボルト 2 3 により共締めして固定されている。各吊支金具 2 4 の下面板 2 4 a には、高さ調整用のアジャスタボルト 2 5 が螺合されている。前記上部パネル支持体 2 は、複数のアジャスタボルト 2 5 の下端の受支板 2 5 a により、高さ調整可能として吊支されている。

10

【0027】

前記上部パネル支持体 2 は、天レール 2 2 に、上端部を残して下方より嵌合された嵌合部 2 6 と、この嵌合部 2 6 の下面に下向きに連設され、アジャスタボルト 2 5 の受支板 2 5 a により支持された側面視コ字状断面の上部パネル支持部 2 7 とを備えている。上部パネル支持部 2 7 の前後の下向片 2 7 a、2 7 a の下端部に形成された外向折曲部 2 7 b、2 7 b の上面には、それぞれ、上方に開口する上部係合溝 2 8、2 8 が形成されている。ガラスパネル 3 の建付け時において、前側の上部係合溝 2 8 には、前側のガラスパネル 3 における上部縁材 7 の係合片 9 の係止部 9 a が、また、後側の上部係合溝 2 8 には、後側のガラスパネル 3 における上部縁材 7 の係合片 9 の係止部 9 a が、それぞれ上方より係脱可能に係合しうようになっている。

20

【0028】

上部パネル支持部 2 7 の下方は、上部カバー部材 2 9 により体裁よく覆われている。この上部カバー部材 2 9 の後部寄りの上面には、上端に前向係合部 2 9 a を有する左右方向を向く上向係止片 2 9 b が、また、前部寄りの上面には、上向係止片 2 9 a よりも短寸の前向係止片 3 0 が、それぞれ連設されている。この上向係止片 2 9 b の前向係合部 2 9 a を、上部パネル支持部 2 7 の下面に取り付けた左右複数の係止片 3 1 の外向片 3 1 a の上面に掛止するとともに、前向係止片 3 0 を、パネル支持部 2 7 における前側の下向片 2 7 a の下部後面に設けた係止溝 3 2 に嵌合することにより、上部カバー部材 2 9 は、上部パネル支持部 2 7 の下面と当接または近接するようにして取り付けられている。なお、上部カバー部材 2 9 の前後の端部は、前後のガラスパネル 3 を建付けした際、それらの後面と前面とに当接または近接するようになっている。

30

【0029】

前面側のガラスパネル 3 を建付けするには、図 2 の 2 点鎖線で示すように、まずガラスパネル 3 を、その下部係合片 1 0 の下端が下部パネル支持体 1 における水平支持部 1 6 a よりも上方となるように、上下のパネル支持体 1、2 の前方に位置させる。

【0030】

次いで、この状態で、ガラスパネル 3 を上下のパネル支持体 1、2 に向かって平行に移動させ、上部縁材 7 の係止部 9 a を上部パネル支持体 2 における上部係合溝 2 8 に、下部縁材 8 の下部係合片 1 0 を下部パネル支持体 1 の下部係合溝 1 7 に、それぞれ、ほぼ同時に落とし込んで係合させる。

40

【0031】

最後に、ガラスパネル 3 の上端部の前面に当接または近接する倒立 L 字状断面の押え部材 3 3 を、上部パネル支持体 2 における嵌合部 2 6 の直下の前面に、複数の止めねじ 3 4 により固定する。なお、後側のガラスパネル 3 についても、前側のガラスパネル 3 と同じ要領で建付けすることができる。

【0032】

これにより、前後のガラスパネル 3 の建付けが完了し、前後の上部縁材 7 が、下部パネル支持体 1 の下向片 2 7 a と押え部材 3 3 との対向面に当接または近接することにより、ガラスパネル 3 の上端部が安定よく保持される。また、前後の下部縁材 8 の起立片 8 a の

50

後面と前面、及び下部係合片 10 の後面と前面が、それぞれ、下部パネル支持体 1 の前向突片 18 と後向突片 19、及び下向片 15 a の前後の面に当接または近接することにより、ガラスパネル 3 の下端部も安定よく保持される。

【0033】

以上説明したように、実施例 1 に係る間仕切パネル装置においては、下部パネル支持体 1 を、幅木 11 の上半部を覆うように設け、かつ前後のガラスパネル 3 の下端部を支持するパネル支持部 16、16 及びその下面を、前側のものについては、その前面側から幅木 11 に向かって後下方に傾斜する直線 L 上にほぼ沿うように前上方に傾斜させ、後側のものについては、前下方に傾斜する直線 L 上にほぼ沿うように後上方に傾斜させてあるので、人がガラスパネル 3 の前方及び後方に立って視線を下方に向けた際に、足元の幅木 11 やパネル支持部 16 が目立ちにくくなり、見栄えが向上する。

10

【0034】

また、上部縁材 7 の係止部 9 a を上部パネル支持体 2 における上部係合溝 28 に、下部縁材 8 の下部係合片 10 を下部パネル支持体 1 の下部係合溝 17 に、それぞれ、落とし込んで係合させるだけで、ガラスパネル 3 を容易に建付けすることができる。しかも、下面に 2 段の段差面 10 a を有する下部縁材 8 の下部係合片 10 を、前側のガラスパネル 3 においては後下方に、後側のガラスパネル 3 においては前下方に、それぞれ傾斜させ、それらの下部係合片 10 を、下部パネル支持体 1 のパネル支持部 16 に設けた、上面に 2 段の段差面 17 a を有する後下方及び前下方に傾斜する下部係合溝 17 に嵌合して建付けしているので、大きな地震等でガラスパネル 3 が上下方向に振動しても、下部係合片 10 が下部係合溝 17 より離脱する虞は小さく、ガラスパネル 3 の下端部が下部パネル支持体 1 より外れるのが防止される。

20

【0035】

さらに、上部パネル支持体 2 には、ガラスパネル 3 の前端部の前面及び後面に当接または近接する押え部材 33 を取付けているので、上部縁材 7 の係止部 9 a が上部パネル支持体 2 の上部係合溝 28 より離脱しても、ガラスパネル 3 の上部が前方及び後方に転倒する虞はない。

【0036】

下部パネル支持体 1 における前上方及び後下方に傾斜するパネル支持部 16 の上面により、ガラスパネル 3 の下端部を支持しているので、ガラスパネル 3 の下部前面の露出面積を大とすることができ、体裁がよくなる。

30

【0037】

下部パネル支持体 1 は、アジャスタボルト 14 と支持金具 13 を介して、実質的に幅木 11 の上面により直接支持され、前後のガラスパネル 3 の重量は、幅木 11 を介して床面 F により受けられるので、下部パネル支持体 1 により前後のガラスパネル 3 の下部を安定よく支持することができる。

【実施例 2】

【0038】

次に、実施例 2 に係る間仕切パネル装置を、図 3 を参照して説明する。この実施例においては、前記実施例 1 の間仕切パネル装置より、後側のガラスパネル 3 を取外し、前側のガラスパネル 3 のみを、前記と同形の下部パネル支持体 1 と上部パネル支持体 2 との間に建付けしたものである。従って、前記実施例と共通する部材については、それと同じ符号を付して、詳細な説明は省略する。

40

【0039】

この実施例 2 の下部カバー部材 21 は、前記と同様の下部カバー部材 21 の後端に、後側のパネル支持部 16 の上方を覆いうる倒立 L 字状断面の後部カバー片 21 c を連設し、その後下面を後側のパネル支持部 16 の後端部上面に当接させてある。また、上部パネル支持体 2 に取り付けた後側の押え部材 33 の下端には、上部パネル支持体 2 の下方と後側の下向片 27 a の後面を覆いうる前向カバー片 33 a が連設されている。後部カバー片 21 c と前向カバー片 33 a の後面は、互いに上下方向に同一面となるように整合させてあ

50

る。

【 0 0 4 0 】

実施例 2 に係る間仕切パネル装置においても、前記実施例 1 に係る間仕切パネル装置と同様の作用効果を奏することができる。

【 実施例 3 】

【 0 0 4 1 】

次に、実施例 3 に係る間仕切パネル装置を、図 4 を参照して説明する。前記実施例と共通する部材については、それと同じ符号を付して、詳細な説明は省略する。

【 0 0 4 2 】

この実施例においては、幅木 1 1 より外側の前部と後部が中空をなす下部パネル支持体 3 5 と上部パネル支持体 3 6 とにおける中央部の対向面に、対向面方向に開口する凹部 3 7、3 7 を設けてある。

【 0 0 4 3 】

これら上下の凹部 3 7、3 7 に、上下の端部にコ字状断面の縁材 3 8、3 8 を取り付けたガラスパネル 3 を、上下のパネル支持体 3 5、3 6 の一方である後面の外側端より挿入させて嵌合したのち、上下の縁材 3 8、3 8 の後面を、それぞれ、上部パネル支持体 3 6 の後部寄りの垂下片 3 6 a にねじ止めした上向コ字状断面の保持部材 3 9 の前面と、下部パネル支持体 3 5 の後部寄りの上向片 3 5 a にねじ止めした上向コ字状断面の保持部材 4 0 の前面とにより、前方に押圧して保持することにより、ガラスパネル 3 を上下のパネル支持体 3 5、3 6 の対向面間に建付けしたものである。

【 0 0 4 4 】

下部パネル支持体 3 5 における幅木 1 1 の前方と後方に突出する部分の下端部 3 5 b、3 5 b は、それぞれ、前記実施例 1 と同様に、前方及び後方から幅木 1 1 に向かって後下方及び前下方に傾斜する直線 L 上にほぼ沿うように、前上方と後上方とに傾斜させてある。

【 0 0 4 5 】

この実施例 3 の間仕切パネル装置においても、下部パネル支持体 3 5 における幅木 1 1 の前方と後方に突出する部分の下端部 3 5 b、3 5 b を、それぞれ、前上方と後上方とに傾斜させてあるので、足元の幅木 1 1 が目立ちにくくなり、見栄えが向上する。

【 0 0 4 6 】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成は前記実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内における変形や追加があっても、本発明に含まれる。

【 0 0 4 7 】

例えば、前記各実施例では、下部パネル支持体 1、3 5 を、幅木 1 1 の上半部を覆うように設けてあるが、ほぼ幅木 1 1 全体を覆うように設けてもよい。

【 0 0 4 8 】

また、前記各実施例 1 及び 2 では、下部係合片 1 0 の下面とパネル支持部 1 6 の上面に、段差面 1 0 a、1 7 a を形成したが、このような段差面 1 0 a、1 7 a を省略して実施することもある。

【 0 0 4 9 】

さらに、下部パネル支持体 1 のパネル支持部 1 6 の傾斜角度、及び下部パネル支持体 3 5 の下端部の傾斜角度は、25 度よりも大または小としてもよい。

【 0 0 5 0 】

本発明は、前記ガラスパネル 3 を用いた間仕切パネル装置の外、通常のボード状のパネル等を用いた間仕切パネル装置にも適用することができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 5 1 】

- 1 下部パネル支持体
- 2 上部パネル支持体

10

20

30

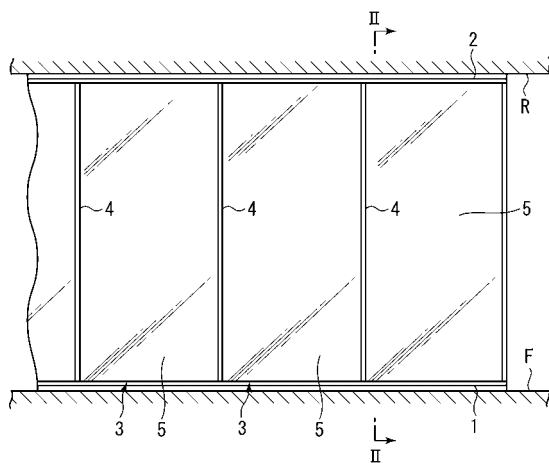
40

50

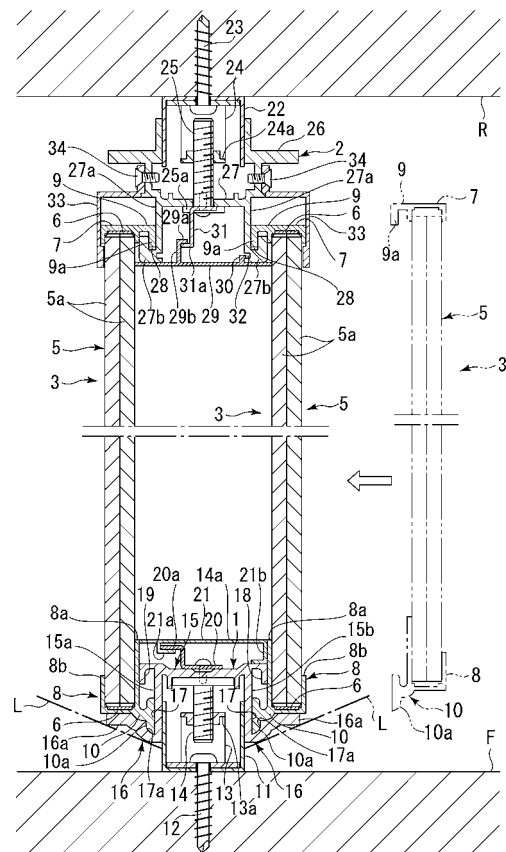
3	ガラスパネル（パネル）	
4	連結部材	
5	パネル本体	
5 a	板ガラス	
6	両面接着テープあるいはホットメルト接着材	
7	上部縁材	
8	下部縁材	
8 a	起立片	
8 b	起立片	
9	上部係合片	10
9 a	係止部	
10	下部係合片	
10 a	段差面	
11	幅木	
12	アンカーボルト	
13	支持金具	
13 a	上面板	
14	アジャスタボルト	
14 a	受け板	
15	嵌合部	20
15 a	下向片	
16	パネル支持部	
16 a	水平支持部	
17	下部係合溝	
17 a	段差面	
18	前向突片	
19	後向突片	
20	カバー取付部材	
20 a	後向片	
21	下部カバー部材	30
21 a	係止片	
21 b	下向片	
21 c	後部カバー片	
22	天レール	
23	ボルト	
24	吊支金具	
24 a	下面板	
25	アジャスタボルト	
25 a	受支板	
26	嵌合部	40
27	上部パネル支持部	
27 a	下向片	
27 b	外向折曲部	
28	上部係合溝	
29	上部カバー部材	
29 a	前向係合部	
29 b	上向係止片	
30	前向係止片	
31	係止片	
31 a	外向片	50

- 3 2 係止溝
- 3 3 押え部材
- 3 3 a 前向カバー片
- 3 4 止めねじ
- 3 5 下部パネル支持体
- 3 5 a 上向片
- 3 5 b 下端部
- 3 6 上部パネル支持体
- 3 6 a 垂下片
- 3 7 凹部
- 3 8 縁材
- 3 9 保持部材
- 4 0 保持部材

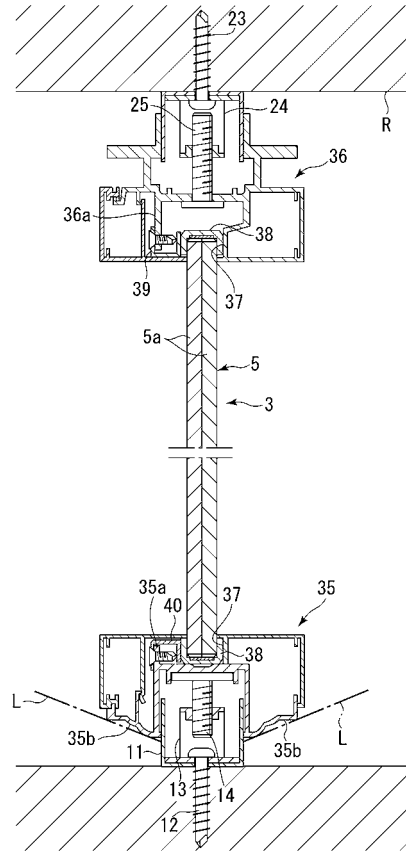
【図 1】



【図 2】



【 図 4 】



フロントページの続き

(74)代理人 100156535

弁理士 堅田 多恵子

(72)発明者 安立 直也

神奈川県横浜市西区北幸二丁目7番18号 株式会社岡村製作所内

(72)発明者 吉田 太郎

神奈川県横浜市西区北幸二丁目7番18号 株式会社岡村製作所内